



「あいうえお」との出会い

日本語文字の基本である「あいうえお」「アイウエオ」五十音を縦横に並べた表を「五十音図」と呼びます。縦にならんだ五つの母音と、横にならんだ子音の合計10の行が、整然と配置されています。しかし、けっしてあいうえおの総数は「五十音」ではありません。現代では下図の通り、51音および46音です。

現代仮名遣いに基づく五十一音図

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
ん	や行に「い」「え」を入れ、ワ行は現代仮名遣いで廃字となった「ゐ」「ゑ」を含めた。51音								

現代仮名遣いに基づく穴あき46音図

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
ん	や行に「い」「え」を省き、ワ行は現代仮名遣いで廃字となった「ゐ」「ゑ」を省いて、穴あきになりました。46音								

五十音図の原型として、11世紀初めに「孔雀経音義」に掲載されたものがあります。40音です。また、1079年に書かれた「金光明最勝王经音義（奈良の西大寺）」に50音があります。平安時代後期、1093年加賀市・山城温泉にある薬王院温泉寺の明覚上人が、「五十音図」の原型を作った人物とされています。これらは「五音」「五音図」と言われていた。

孔雀経音義の四十音図 (11世紀初め)

リ	キ	ヒ	ミ	イ	チ	シ	キ
ロ	ヲ	ホ	モ	ヨ	ト	ソ	コ
ラ	ワ	ハ	マ	ヤ	タ	サ	カ
レ	エ	ヘ	メ	エ	テ	セ	ケ
ル	ウ	フ	ム	ユ	ツ	ス	ク

金光明最勝王经音義五十音図② (1079年)

サ	カ	タ	ハ	ナ	マ	ア	ヤ	ワ	ラ
シ	キ	チ	ヒ	ニ	ミ	イ	イ	キ	リ
ス	ク	ツ	フ	ヌ	ム	ウ	ユ	フ	ル
セ	ケ	テ	ヘ	ネ	メ	エ	エ	レ	
ソ	コ	ト	ホ	ノ	モ	オ	ヨ	ヲ	ロ

本来の「五十音図」という名称は、江戸時代の国学の祖、契沖が元禄六年（1693年）に著した「和字正濫鈔」にはじめて見えます。

契沖の五十音図 (元禄六年・1693年・和字正濫鈔より)

和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
和	良	也	未	波	奈	太	左	加	阿
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

五十音の最後の「ん」は、平安時代後期には独立した文字で書かれるようにはなりましたが、音図の伝統からははずれており、明治以降「ん」を加えた五十音図が、仮名文字の配列と日本語の主な音節を網羅しているため、国語教育で利用されるようにはなりました。

北原白秋の五十音

あめんぼ	あかいな	アイウエオ	うきもに	こえびも	およいでる
かきのき	くりのき	カキクケコ	きつつき	こつこつ	かれげやき
ささげに	すをかけ	サシスセソ	そのうお	あさせで	さしました
たちましょ	らっぱで	タチツテト	トテトテ	タッタと	とびだった
なめくじ	のろのろ	ナニヌネノ	なんどに	ぬめって	なにねばる
はとぽっぽ	ほろほろ	ハヒフヘホ	ひなたの	おへやにゃ	ふえをふく
まいまい	ねじまき	マミムメモ	うめのみ	おちても	みもしまい
やきぐり	ゆでぐり	ヤユエヨ	やまだに	ひのつく	よいのいえ
らいちょうは	さむかろ	ラリルレロ	れんげが	さいたら	るりのとり
わいわい	わっしょい	ワイウエヲ	うゑきや	ぬどがえ	おまつりだ

ヒライ流「あいうえお」 人を愛することから始めよ そうすれば、幸運でおわる

あ言うえお……あ～言おうか、こ～言おうと悩まず、言葉に出して意見・考えを言う。
 書きくけこ……それを確実にするため報告書、手紙、メモなどこまめに書きましょう。
 指しすせそ……的確な指示をせよ。組織の目標や方針、リーダのビジョンを指し示そう。
 立ちつてと……どんな困難にも立ち向かおう。先頭に立ち皆を先導・率先垂範しよう。
 何にぬねの……何事にも、何？何ぜ？何処？だれ？いつか？と疑問や好奇心を持とう。
 は皮膚へ歩……スキンシップを大切に接しよう、肌のふれあいや足で歩いて実感せよ。
 ま見む目も……ものごとを真正面から見よ、正面・側面・反面からも多面的に観察せよ。
 やい言えよ……「やいっ!!」「こら!!」と本音で言えるように。しかし揶揄するなかれ。
 ら理るれる……理路整然、理論武装せよ。理に合ったやり方、理性のある行動をせよ。
 和ぬうゑを……和を以って貴しとなす。人の和（輪）を大切にしよう。平和に和やか。
 運（ん）……運をつかめ。運を引き寄せよ！人間関係は互いのあ・んの呼吸が大事。

あいうえお人生訓 人生八十年で学んできた生き方の「あかさたなはまやらわん」

あなたの人生で大切な
「あいうえお」

あで愛が溢れる。
いで命が輝く。
うで運が巡る。
えで縁で結ばれる。
おで恩に気づく。

かいてきな人生の生き方
「さしすせそ」

かは感謝
きは希望
くはくよくよしない
けは健康
こは好奇心をもち行動

さわやかなほめ言葉の
「さしすせそ」

さはさすが！
しは知らなかった！
すはすばらしい！
せはセンスある！
そはそうなんだ！

たのしい「ヒライ信」作成の
「たちつてと」

たは短時間で読める
ちは違いが分かる
つは伝わりやすい
ては手に取りやすい
とは整っている

なんとか苦難を打開する
「なにぬねの」

なはなんとかなる！
にはニコニコ過ごす
ぬは温もり感じながら！
ねは熱意を持って粘り強く！
のは伸び伸びやろう！

ハイレベルでなくていいよの
「はひふへほ」

はは半分でいい
ひは人並みでいい
ふは普通でいい
へは平凡でいい
ほは程々でいい

ままろう交通安全の
「まみむめも」

まは待ちましよう
みは見つめよう
むは無理をしない
めは目の前に集中
もはもっと確かめる

やってくる80の壁を超える
「やあゆゑよ」

やはやりたいことをやれ
あはイライラするな
ゆはゆとり&ゆったり
ゑは偉ぶるな
よは欲望は長生きの源

らくに交流の場づくりの
「らりるれる」

らは楽に楽しく
りは臨機応変に
るはルールに縛られない
れは礼節を守って
ろは炉端会議風

